

2026年2月2日

株式会社スカイコム

記録の不正や改ざんを防止する ドキュメント監査証跡システム『SkyPAS® AT』、 文書運用管理を強化するマイナーバージョンアップを実施 ～GMPに沿った文書運用を支援し、旧版様式の誤使用を防止～

株式会社スカイコム(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:川橋 郁夫、以下 スカイコム)は、製造現場において電子化(PDFファイル)された検査書や点検表などの帳票に記録を行う際、「誰が」「いつ」「何を」記入・実施したのかを自動的に監査証跡として記録・保存するとともに、記録の削除や帳票自体の削除、改ざんを防止する機能を備えた、マルチデバイス対応のクラウド／オンプレミス型セキュア・ドキュメント共有システムサービス『SkyPAS® AT』をマイナーバージョンアップし、2026年2月2日(月)より販売開始いたします。

監査証跡を確保するマルチデバイス対応のクラウド／オンプレミス型セキュア・ドキュメント共有システムサービス



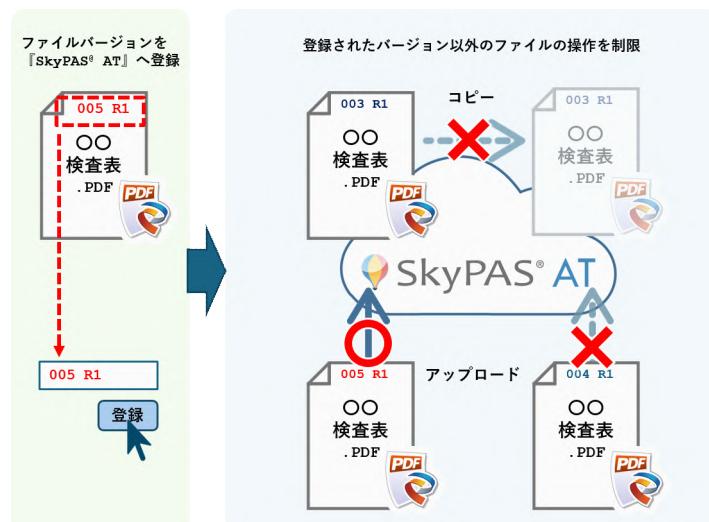
<https://www.skycom.jp/product/skypas/at/>

【アップデートハイライト】

■ファイルバージョンチェックの追加

今回のマイナーバージョンアップでは、GMPで求められる最新版での文書運用を、従来の運用管理に加え、システムによって担保することを目的に、新たに「ファイルバージョンチェック」を追加しました。

本機能では、お客様が既に運用している各種業務文書ファイルに設定された文書番号や版数などの管理情報を『SkyPAS® AT』に登録することで、ファイル操作時に登録内容との照合を行います。最新版ではないファイルについてはアップロードや表示、移動などの操作を制限※することで、最新版以外のファイルが利用されることを防止します。



これにより、誤って古い版のファイルを使用してしまう、またはそのことに気づかず運用してしまうといったリスクを低減し、GMPに沿った確実な文書運用を支援します。

※制限対象の機能

・ファイルのアップロード	・ファイルのコピー	・ファイルの表示	・ファイルの移動
・ファイルの結合	・ロックしたファイルの解除	・ファイルの回覧	・フォルダーのコピー

このほか、操作性の向上および制御機能の強化を中心とした各種改善を実施しています。

【提供開始】

2026年2月2日(月)より

【今後の展開】

スカイコムは、製造現場をはじめとしたあらゆる業務シーンにおける電子帳票の利活用を一層促進し、近年求められている電子記録の真正性確保やコンプライアンス強化、現場DXの加速に対応すべく、『SkyPAS® AT』の機能拡張および利便性向上に継続して取り組んでまいります。

これらの取り組みを通じて、お客様が安心して電子記録を運用できる環境を提供し、現場業務の効率化と品質向上を支援してまいります。

本文中に記載されている会社名、ブランド名および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。

株式会社スカイコムについて

- 社名：株式会社スカイコム
- 設立：1997年6月
- 資本金：1億円
- 代表者：代表取締役社長 川橋 郁夫
- 所在地：東京都千代田区神田松永町19 秋葉原ビルディング10階
- ホームページ：<https://www.skycom.jp/>

選ばれるPDFメーカー、スカイコム。

当社は「安全・安心な電子文書化社会の実現に貢献」をスローガンに掲げ、電子文書の世界標準フォーマットである「PDF」をコアに据えたPDFソフトウェアプロダクト（ペーパーレス化、業務改革推進のための製品・ソリューション）を提供しています。PDF技術を自社開発する専門性と高い技術力を強みに、日本国内のみならず海外からも高い評価を得ています。国際的なPDF関連ベンダーの業界団体であるPDFアソシエーションのメンバーとして、これまで数多くの一般企業、金融機関、官公庁・自治体が利用するシステムやアプリケーションに当社のPDFテクノロジーを提供し、豊富な実績を築いています。

【本リリースに関するお問合わせ】

株式会社スカイコム 営業本部 広報部 東、岡田、亀川
TEL: 03-5289-0788 FAX: 03-5289-0783
Email: pr@skycom.jp

© SKYCOM Corporation. All Rights Reserved.

本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。